

平成29年度 グループホームなばの事業報告 (期間:平成 29 年 4 月 ~ 平成 30 年 3 月末)

分類	重点実施項目	実行計画	評価指標	目標値	結果値	実施報告
地域貢献の視点	・認知症カフェを開催し、地域に貢献する。	毎月1回開催し、居宅、地域包括にもチラシを配布する。	参加人数	1回10名	1回6~8名	毎月第4月曜日に「キッチン夢来」で開催。奇数月にはカイロプラクティックの先生による体操なども行った。認知症予防として脳トレプリント類をしている。チラシは毎回、次回分を作成し配布している。 出来ていないのが現状。今後の課題とする。
		チラシは管理者が作成する。				
	・地域との交流機会を増やす。	地域の方が参加出来る行事を計画する。	地域住民	数回	出来ていない	
収支の視点	・稼働率の安定を図る。	散歩やレクを通じて筋力低下を防止転倒を予防する。	稼働率	98%	93.90%	目標値には達していない。12月頃から入院者が多くなる。骨折、誤嚥性肺炎等が多くなっていき、3月には4名入院し一気に稼働が落ちた。今後の散歩やレク、毎食前の嚥下体操を継続し、転倒、肺炎の予防につめる。 光熱費は昨年より11.8%の削減となった。 なばのみの待機者は現在1名。野瀬と合わせると10名程度。入居申し込みの中から追跡調査をする必要あり。
		口腔ケア、嚥下体操を通じて肺炎を予防する。	回数	毎食前	継続して行った	
	・経費削減を図る。	光熱費を確認し削減に努める。	光熱費	前年より削減	前年より11.8%削減	
	・待機者の確保をする。	認知症カフェを通じて待機者を募る。	待機者人数	年間5名	確保している	
利用者の視点	・外出機会を増やし外部との関わりを持つ。	外出の機会を増やし、近隣の保育所や障害者施設との合同行事を計画する。	行事回数	毎月1回	毎月2回以上	外出の機会は最低でも週2回ユニットの食材の買い物に利用者が同行している。その他の行事や個人外出も積極的に行っている。近隣施設との関わりは、毎月1回の野の草園の訪問販売を行う。
業務プロセスの視点	・緊急時の対応を強化する。	マニュアルに沿ってシミュレーションを行う。車いす対応の車を特養から借りてきて、使用方法を覚え確認し、周知できるようにする。看護師からの指導を受ける。	実施回数	年間3回	年間3回	7月の会議で「緊急時マニュアル」の確認とAEDの使用の確認を行った。西尾看護師から吸引器の使用法の指導を受けた。車いす対応の車の操作方法の習熟を行った。 年間2回6ヶ月ごとのマニュアルの見直し作成後周知徹底を行った。
	・各マニュアルを再確認する。	各委員におけるマニュアルの見直しを行い周知徹底を図る。	実施回数	年間2回	年間2回	
学習と成長の視点	・認知症ケアについて理解を深める。	認知症に関する研修を行う。	実施回数	年間4回	年間4回	法定研修は行った。資料での回覧研修も随時行う。 認知症介護実践リーダー研修受講後、認知症専門ケア加算を取得。管理者研修1名参加
	・今後のリーダー候補を養成する。	外部研修へ参加する。	習熟度相	毎年1名	1名	